

## 【奨励賞】

団体名	ハローキャリアワーク
活動の内容（概要）	区内の児童・生徒が、民間企業等において働くことを通して学ぶことや協働することの意義を実感し、主体性や責任感等を育むとともに、自らのキャリアや将来について思い描く機会を創出するために、令和4年度から世田谷区教員委員会では「ハローキャリアワーク」事業の試行実施を始め、令和5年度より本格実施している。企業から課題解決のための依頼を受けて区内の小・中学生から希望を募り、参加した子どもたちが自分の経験や知識、得意なことを生かして、学校も学年も異なる仲間や大人とともに、課題解決に向けて取り組む。

### 受賞理由（審査委員のコメント）

- キャリア教育に企業からの課題解決を小中学生が受けるという視点を入れたところが興味深い。多くの児童生徒が参加の機会を得ることができるような今後に期待したい。
- 連携規模 児童生徒の内発的動機付けを意識した取組。
- 異年齢・他校の生徒などと共に学べる取組。
- 都市部におけるキャリア教育の取組として、90校を対象にしている広い取組という点がこれまでにない価値であり、多くの学校から少数の生徒が参加するという新たな学校交流型のキャリア教育という可能性の創出につながることを期待できる。学校・学年を超える多様な参加・連携の可能性が広がることを目指してほしい。世田谷キャリアアワードという取り組みも、今後の参加拡大につながるだろう。

### 連携・協働している機関や団体、組織

【教育関係者（学校、教育委員会等）】

世田谷区教育委員会

【行政（首長部局等）や地域・社会（NPO法人やPTA団体等）、産業界（経済団体や企業等）】

世田谷区経済産業部産業連携交流推進課、株式会社松陰会館、株式会社リコー（ラグビー事業部）、学校法人村川学園東京山手調理師専門学校、楽天グループ株式会社、伊佐ホームズ株式会社、株式会社BYD、キティインターナショナルスクール、昭和信用金庫、尾山台商栄会商店街組合、株式会社Clock hour、世田谷区立図書館

### 活動開始の経緯

区内の児童・生徒が、学校内の学びが地域社会で活かされる経験や体験を積み、学びの連続性を実感するとともに、働くことを通して協働することの意義を実感し、自らの生き方や将来について思い描く機会を民間企業や大学、地域等と連携して創出することとした。令和4年度から世田谷区教員委員会で「ハローキャリアワーク」事業の試行実施を始め、令和5年度より本格実施している。

### 「協力性」についての具体的な取組、工夫している点など

区の行政が担当所管を超えて、本プロジェクトのために力を合わせている。そのため、大企業から地域の商店街、専門学校、インターナショナルスクールなど、多種多様な業種が参加し、この取り組みを支えている。参加事業者には、それぞれがもつ企業理念や社会・ステークホルダーへ貢献する思いなど

を伝えていただくようお願いし、参加した子どもたちが指示されたことを体験するだけの活動とならないように共有している。さらに、子どもたちの可能性を理解し、子どもたちが自分の力が社会で活かされたと実感できるような場面をつくるようお願いし、企業からは子どもたちの斬新なアイデアから学ぶことが多いとお声をいただいている。

#### **「継続性」についての具体的な取組、工夫している点など**

継続性をもたせるために、事業者と受け入れ企業との事前の打ち合わせ、活動後の振り返りを大切にしている。

事前の打ち合わせでは、本プロジェクトの趣旨を説明し、企業が大切にしている理念や事業内容を時間をかけてヒアリングし、児童・生徒に伝えたい内容の整理を行っている。

児童・生徒は課題をもって当日を迎えられるように事前の学習を大切にし、活動後には、振り返りを行い、これからの生き方に結び付けて考えられるようにしている。また、アンケート調査を行い、内容や方法、児童・生徒の学びの成果などを把握することで事業の見直しに役立てている。これまでの調査の結果では、参加した児童・生徒からは事業の楽しさと共に自己有用感の高まりなど肯定的な回答が大半を占めており、事業としての成功を感じている。

#### **「実践性」についての具体的な取組、工夫している点など**

本区の児童・生徒は、全国学力・学習状況調査の結果によると、「学校で学んでいることが将来に役に立つと考えている」という設問について肯定的に回答した児童・生徒の割合が他の地域に比べて低い課題があった。また、「将来の夢や目標を持っていますか」という設問についても他の地域に比べて低いという傾向があった。そのため地域や企業を巻き込んで、社会に出たときに自分らしく生きる力を高めるために本事業がスタートした。本事業を通して、地域や企業が積極的に教育活動に関わるきっかけとなり、今後は、地域のいたるところに子どもたちの学びの可能性がある社会づくりを目指している。

#### **「発展性」についての具体的な取組、工夫している点など**

今年度より、本事業において本区のキャリア教育に貢献した企業や地域の力を表彰する制度（「世田谷区キャリアアワード」）を開設した。この表彰制度により、企業や大学、学校運営委員などがこの事業の意義の理解をさらに深め、次年度の事業を計画する姿が見られた。今年度の好事例を地域・社会へ波及することで、さらに多くの協力者を集めることができると期待している。

また、X（旧ツイッター）やホームページなどの広報媒体を積極的に活用し、保護者や地域、企業への周知を行い、社会全体で子どもたちを育てる雰囲気醸成させることを目指している。

#### **学校現場の評価・感想・コメント**

子どもたちが学校の中で学んだことを社会で発揮し、自己実現につながる取り組みだと感じた。小学校の高学年になると、学校に留まらないで、学校を飛び越えていくような意欲をもつことが重要である。ハローキャリアワークに参加した児童は、「自分の力が社会を変えた」という実感を持ち、学校の活動に積極的に関わっていくようになった。参加した児童にとって、非常に価値のある体験となった。さらに、受け入れた地域では、今年度夏祭りを開催するにあたり、新たな「子ども実行委員」を設立し、子ども力を地域で発揮させる取組などが生まれ、地域の子ども理解が広がった。（世田谷区立城山小学校 校長）

## 関係諸機関（行政・産業・地域団体等）からの評価・感想・コメントなど

活用されていない空地の有効活用についてアイデアを出していただくようお願いしたが、子どもたちのアイデアに驚いた。実際に活用できるアイデアがあり、現在社内会議に出して実用化を検討している。（株式会社松陰会館 社長）

活気が少なくなっていた商店街を、子どもたちの視点で見ってもらうことで、新たな価値を見出してくれた。新しいロゴづくりでは、子どもたちに人気のカルチャーを取り入れるなどたくさんの斬新なアイデアが出てきました。（株式会社 Clock hour 代表取締役社長）



＜空地の有効活用について考えを出し合う

【株式会社松陰会館にて】＞



＜喜んでもらえるよう考えたオリジナル中華まんの試作品づくり

【学校法人村川学園東京山手調理師専門学校にて】＞